
クレリックの掟

イツキ葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クレリックの掟

【Nコード】

N6468A

【作者名】

イツキ葵

【あらすじ】

クレリック――すなわち聖職者を目指す、見習いのテノ。シスターに連れられて研修に来たのは、オンボロの不気味な教会だった。神聖な場所のハズなのに、盗賊や魔女が住み着くその変な教会「チャウダー」で、憧れの聖職者になるために、日々頑張るテノのオモシロ奮闘記をご覧ください！

Vol. 1：始まりは唐突で

なに、ここ。

それがオレの第一声だった。

いや、実際には声に出してはおらず、思ったただけだが。

目の前にででんとそびえる、傾きかけた（本当に傾いていたのかもしれないが……少なくとも、チャウダー、と書かれた看板は右に30℃は傾いていた）いかにも蜘蛛の巣が張っていそうな古い教会を見れば、誰だってそう思うだろう。多分。

昼間だと言うのに、この教会の周辺だけ不気味なオーラが漂っている（気がする）。

いかにもなにかがでてきそうだ。

ここなら、白昼でも本格的な肝試し大会ができるだろう。

きつと、右隣りで突っ立っている、シスター・ミステインもそう思っているに違いない……

そう思って、オレは啞然としているであろうシスターの方へ顔を向けた。

が、その瞬間、オレは逆に啞然とさせられたのである。

シスターが、微笑んでいる。

キラキラという効果音が付きそうなくらい、満面の笑みで。

オレは、思わず口をあんどりと開けてしまった。

なんでこの状況で微笑んでいられるんだ？

可愛い弟子の研修先がこんなお化け屋敷だってのに、なんとも思わないんですか？

あれか！？

そんなにオレが嫌いなのか！？

自分で勝手な想像をして自分で勝手に傷ついていたオレに、あごを外させたいんじゃないかと思うような、信じられないシスターの言葉が耳に入った。

「テノ、あなたは運がいいですね。こんなに素晴らしい教会なんて、めったにあるものではありませんよ」

……はい？

「本当に素晴らしい。内部から神聖な空気が溢れ出していますわ」

神聖な…？

邪悪な雰囲気の間違いでは？

「テノ、頑張って研修をしてくるのですよ。真のクレリックを目指して、修行に励みなさい」

オレのあごは、本格的に外れそうだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6468a/>

クレリックの掟

2010年11月24日07時10分発行